

「小松島市立学校再編基本計画」を策定しました

小松島市教育委員会

概要

▼ 背景及び策定までの経緯

全国的な少子化の傾向と同様に、小松島市においても想定を上回るスピードで児童数が減少しており、市内小学校において、クラス替えができない「1学年1学級」の学校が大半を占める状況となっております。しかし、学校教育は適切な規模で行うことが好ましく、学校の小規模化が進んだ場合、教育条件、教育環境、学校運営等に様々な影響が心配されることから、各小学校の規模は適正に維持される必要があります。また、学校施設（校舎等）の老朽化問題なども含め、子どもたちへのより良い教育環境を享受できるようにしたいと考えています。

小学校の再編に関しては、このような状況を踏まえ、将来を見通した学校規模・適正配置の具体的なビジョンとして「小松島市立学校再編基本計画（案）」を作成し、その内容については、広報こまつしま（平成30年5月号）でもお知らせをいたしました。この「小松島市立学校再編基本計画（案）」について、地域住民説明会の開催や同説明会への参加者を対象としたアンケート調査を実施したほか、パブリックコメントや個別説明会を行う中で、市民の皆さまから多くのご意見をいただき、「小松島市立学校再編基本計画」の策定に向けて取り組んでまいりました。

▼ 策定過程（主なもの）

- ・平成 29 年 10 月 「小松島市立学校再編有識者会議」設置
- ・平成 30 年 1 月 「小松島市立学校再編基本計画（案）」を取りまとめ
- ・平成 30 年 7・8 月 地域住民説明会（全 11 回）、同説明会参加者を対象にアンケート調査
- ・平成 30 年 10 月 個別説明会（全 1 回）、パブリックコメント（2 名、6 件）
- ・平成 30 年 12 月 定例教育会議及び総合教育会議の承認を経て決定

▼ 基本的な考え方

この基本計画は、児童数の将来推計をもとに、将来的な学校規模を見据えた上で、子どもたちの成長にとって望ましい教育環境を実現することを目指すものです。具体的には、計画期間や学校再編の方法（現在の学校単位の再編）、学校数などについての7つの基本方針を定め、学校再編に計画的に取り組むこととしています。

今後の予定

▼ 今後の進め方

「小松島市立学校再編実施計画」を平成 31 年度中に策定する予定です。その実施計画は、再編後の具体的な学校数、再編内容、再編時期、再編場所などを定めるものです。教育委員会としましては、まずは計画の案を作成するため準備を進めてまいりますが、適宜、地域住民説明会やパブリックコメント、アンケート調査などを行う中で、市民の皆さまのご意見をいただきながら、「子どもたちの成長にとって望ましい教育環境」を目指し、学校の再編に取り組んでまいります。